

特集：ふるさと納税先進地視察
議員コラム：加藤 智恵子

ふなはし議会だより

Funahashi

ふなはし

Bridging

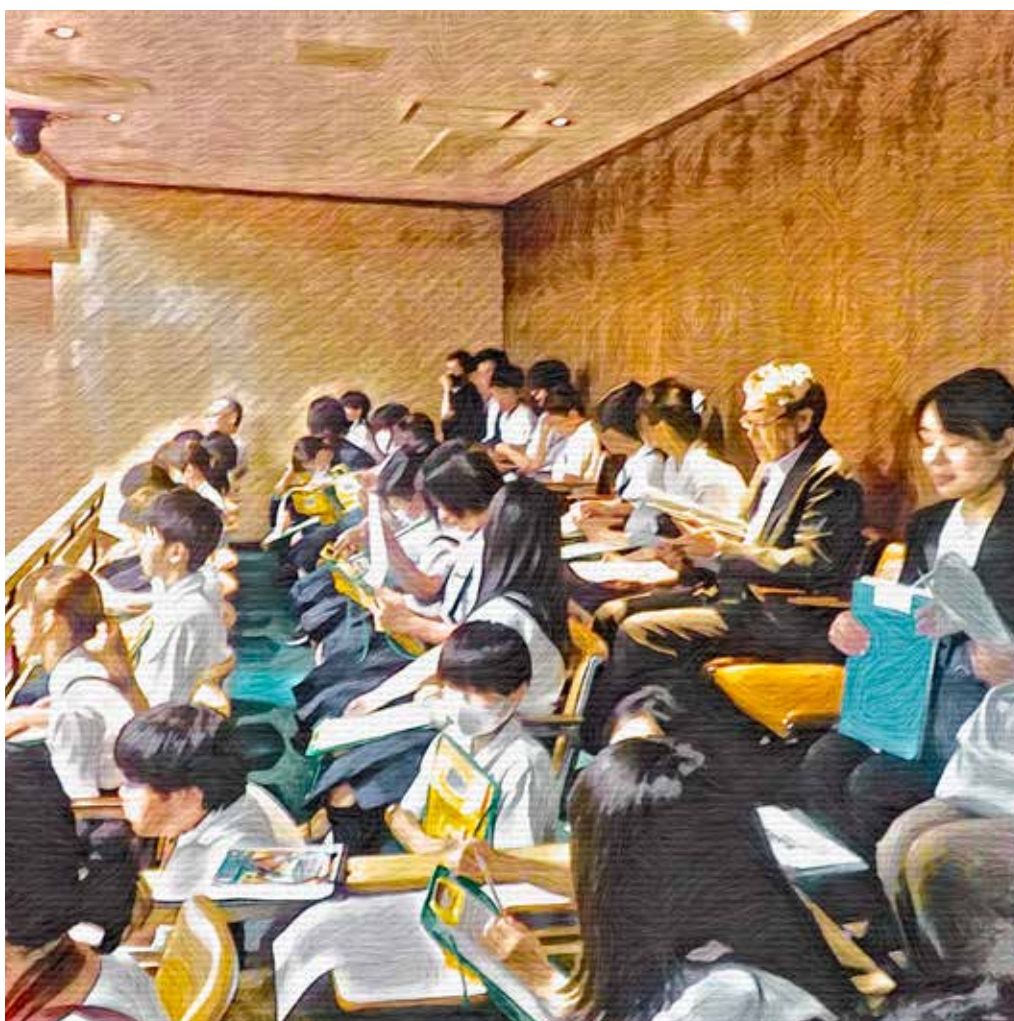
ぶりっじんぐ

Voices

うおいしーず

INDEX

- 特集：ふるさと納税先進地視察 P 2
- NEWS P 6
- 3月議会号アンケート報告 P 7
- FUN! FUN! FUNAHASHI! P 8
- 一般質問 P 9
- 議員コラム：加藤 智恵子 P16
- 6月定例会議案一覧 P17
- 常任委員会 P18
- 問責決議 P20
- クロスワード、あとがき P22



6月の本会議では舟橋小学校の6年生が社会の授業で議会傍聴に来てくれました。一般質問では、いつも以上に熱が入った質疑応答となりました。

舟橋小学校6年生による議会傍聴

先進地視察 2025 春

2025.04.16 ~ 2025.04.17



茨城県下妻市を食べ尽くせ！

ふるさと納税返礼品の製造の今を学ぶ



返礼品を 作る

私達がお邪魔したのは、茨城県下妻市にあるビアスパークしもつま内にある、農産物加工施設、工房 We mam。ビアスパークしもつまは農林水産省のリフレッシュビレッジ構想（都市と農村の交流と共生の拠点となる食と健康のテーマパークを整備して、農村資源と農村空間を活用した地域おこしを進める構想）に基づいて整備された施設である。緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の休暇活動として、農産物加工施設以外にも、温泉施設、ホテル、レストラン、直売所など、グリーンツーリズムを楽しむための施設がたくさん設置されている。



施設を案内してくれたのは、工房 We mam を管理、運営している有限会社スズラン・ロードハウスの代表取締役の生井浩司氏（下部写真左端が生井氏）。ここでは 6 次産業化商品開発コンサルティング事業として、生産者のアイデアを企画段階から一緒に考え商品化したり、これまで販売出来なかった B 品や規格外の素材を「売れる商品」に生まれ変わらせるといった取り組みがされている。

その中にはふるさと納税向けの商品開発も含まれており、多くの返礼品がここで開発されているというから驚きである。



工房 We mam は、わずか 120 坪程度の大きさの建物であるにも関わらず、非常に多くの食品を扱う事が出来る施設になっており、焼き芋や豚の角煮、煮魚を製造するそうざい工房。スイートポテトや、プリン、パウンドケーキを製造する菓子工房。イカの沖漬けや冷凍刺身を製造する水産加工工房。様々な素材を使った各種ジェラートを製造するジェラート工房。ジャムやソース、ドレッシングを製造するジャム・タレ工房。そしてローストビーフ、サラダチキン、ベーコンなどを製造する食肉製品工房と、6つの工房を使って商品の開発・製造が行われている。

スチームコンベクションオープンやブラストチラー、リキッドフリーザー等の調理機器を使い、安心・安全で美味しく保存性の高い商品の生産・開発がされていた。

返礼品を

食す

下妻市やスズラン・ロードハウスさんの今までの取り組みについて、ビアスパークしもつま内の研修室で紹介いただいた後に、同じくビアスパークしもつま内のホテルにチェックインし、下妻市内の居酒屋、「海と大地のご馳走家 すずらん」へ。名前でお分かりの通り、スズラン・ロードハウスさんが経営する居酒屋である。300 席もある一軒家のお店で、ここで提供されているメニューには、当然のことながら工房 We mam で製造された材料が使われている。今回私達は生井さんの計らいで、工房 We mam スペシャルをいただいた。



生井さんからは「すてないプロジェクト」という題名で、今までは販売出来なかった B 品や規格外の素材を、どうやって安く商品化出来るかという事を、様々な工夫で実現した事例を紹介していただいた。独自の工夫や、農家との交渉、製造における省力化など、多くの事例をお持ちの生井さんだからこそ分かる、とても貴重な今までの取り組みを紹介していただいた。

「海と大地のご馳走家 すずらん」では工房 We mam で製造された材料を使った料理を出していただいた。ビーフシチュー（下の写真左側）に入った大きな牛肉は、工房で加工され、一度急速冷凍したものを使っている。形がしっかり残っているのにホロホロという絶品である。煮魚（下の写真右側）も工房で煮魚に真真空調理し、急速冷凍したものを温め直しただけとの事だが、とてもおいしい煮魚だった。これ以外の料理にも工房 We mam 製の料理が目白押しで、どれもおいしい物ばかりだった。



「海と大地のご馳走家 すずらん」で満腹になった我々でしたが、古川・小杉の2名は「らーめん すずらん」へ。こちらもスズラン・ロードハウスさんが経営するラーメン屋である。なんとこちらのラーメンは、カルフォルニアの姉妹店がミシュランガイドに掲載されるほどの味である。そして安い。ラーメンの後に、工房 We mam 製のジェラートで締めで大満足で大満腹の一日だった。

返礼品を 学 ぶ

特集の最後にふるさと納税返礼品の現状についてまとめたいと思う。ふるさと納税という制度は、開始からすでに 15 年以上が経過している制度であるが、寄付の総額は年々増加傾向にあり、まだまだ増える可能性も示されている。一方で様々な問題点も多く、制度開始から幾度となく制度の見直しが行われているという現状もある。本村においては返礼品の種類を増やしたり、プロモーション等行う事で、寄付額は増加傾向にあるが、日本全国の寄付総額を鑑みると、まだまだ増やす事が出来そうである。本稿を参考にしただけ、近くに返礼品になりそうなものが無い、考えていただけると幸いである。

■返礼品の基準、代表例（令和 7 年 6 月 24 日改正・令和 8 年 10 月 1 日から適用） ※抜粋

- ① 村内において生産されたもの
- ② 村内において返礼品等の原材料の**主要な部分が生産**されたもの
- ③ 村内において返礼品等の**製造、加工その他の工程**を行うことにより当該返礼品等の価値の過半が生じているもの
- ④ 村の広報の目的で製造等がされた当該地方団体の**キャラクターグッズ、オリジナルグッズ**等
- ⑤ 村内において提供される**役務**その他これに準ずるもの

※返礼品についてさらに詳しく知りたい方は、平成 31 年総務省告示第 179 号をご確認ください。

現在取り扱い中の 本村のふるさと納税 返礼品

① 村内において**生産**されたもの



② **主要な部分が生産**されたもの



③ **製造、加工**を行うことにより
価値の過半が生じているもの



④ 広報の目的で製造された
村の**オリジナルグッズ**



⑤ 村内において提供される**役務**
その他これに準ずるもの



■おまけ



視察 2 日目は、道の駅しもつまにて朝食をとった。この道の駅にはなんと納豆工場が併設しており、下妻産大豆を使用したしもつま納豆「福よ来い」を食べることが出来た。最初から最後まで食べてばかりの視察だったが、食が持つ魅力や、ふるさと納税産品としての可能性を感じることが出来た。今回の視察をアテンドしてくれた、本村の地域創造力アドバイザーの渡邊竜一氏に感謝しつつ今回の視察報告とする。

- 01 未来に向けてグループトーク！
- 02 今年も大きくなーれ！
- 03 議会傍聴席は立ち見が出る盛況ぶり
- 04 県各所へ舟橋村からの要望伝える

NEWS

01 未来に向けてグループトーク！

2025. 5. 31 舟橋中学校創立75周年記念式

舟橋中学校と同窓会が共同主催にて行った創立75周年記念式典では、セレモニーと併せて同窓生との交流イベントを実施しました。そのひとつが「先輩に学ぶグループトーク～未来に向けて～」です。ふるさとに根ざし、広い世界で活躍する同窓生の方々の存在に触れ、生徒たちに未来に向かう意欲を抱いてほしいと願って企画したイベントです。渡辺村長さん、古川議長さんをはじめ、10～60代のゲストティーチャー15名にご協力いただき、実現しました。生徒だけでなく、教職員やご来賓の方々も輪に加わってのグループトークは、まさに「和」を以て「輪」を成し、「和」を生む、舟橋中学校らしい時間となりました。心より感謝いたします。（舟橋中学校 校長 有山 博子）



NEWS

02 今年も大きくなーれ！

2025.6.7 サンフラワープロジェクト2025 ～種まきとサンフラワーポップコーン編!～

今年も多くの老若男女の村民が集まってひまわり畑に種を植えました。種まき以外にも、月一園結びとのコラボで、昨年収穫したひまわり油を使ったポップコーンが食べられた事もあり、去年より多くの村民が参加してくれました。役場スタッフも村民も去年参加したメンバーが多く、去年より慣れた手つきで、あっという間に種まきが終わりました。ところが、種まきに慣れたのは私達人間だけではなく、鳥たちにも場所を覚えられてしまったようで、せっかく撒いた種を鳥たちに食べられてしまいました。その後、役場スタッフによる植えなおしや、鳥対策を施し、無事発芽したようなので、今年も満開のひまわりが咲き誇る事を楽しみにしたいと思います。（小杉 記）



NEWS

03 議会傍聴席は立ち見が出る盛況ぶり

2025. 6. 9 舟橋村立舟橋小学校6年生による議会傍聴

6月9日、舟橋村議会6月定例会の本会議において議員が一般質問をして当局と議論をしている光景を、舟橋小学校6年生の子どもたちが傍聴されました。子どもたちが全員入ると、傍聴席は満席を超え、立ち見が出る事態に。落ち着いた様子で議論を見守っていました。議論の中身については難しい内容も多かったかと思いますが、議会を通じて地域社会が形作られる様子から何か一つでも印象に残ることがあれば嬉しいものです。（古川 記）



04 県各所へ舟橋村からの要望伝える

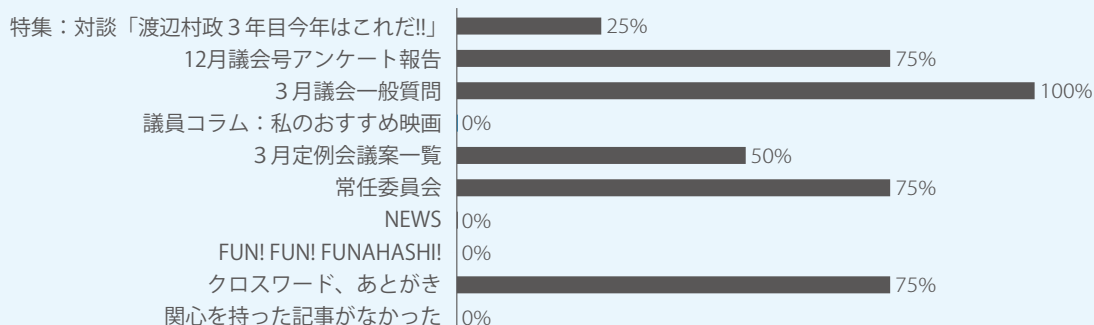
2025. 7. 3 県への重要要望

舟橋村だけでは解決が難しい問題について、富山県知事や副知事をはじめとして県庁の各所へ、渡辺村長と古川議長とで要望が伝えられました。道路やそれに伴う除雪、融雪についてや、農地整備事業についてもありましたが、特に地方公共団体情報システムの共通化について、小さな自治体としては非常に高い負担が求められる方向性にあるため、県からも国に見直しをお願いしてほしい旨を強調して伝え、それぞれ県としてもしっかりと力を入れていくという回答をいただきました。（古川 記）



3月議会号アンケート報告

問4、今回の議会だよりで関心を持った記事はどれですか？（複数回答可）



問5、クロスワードの答え

公園部長達が
提案してくれた遊具

ブ_A ラ_B ン_C コ_D



● 正解

13	ハ		7	ハ	16	ジ	18	コ _D	20	ノ	イ	22	ラ	ツ	24	メ
1	ス	14	シ		8	ユ	メ	ミ			イ					ウ
		6	ラ	15	デ	ン _C			10	ノ	ド	23	ブ _A		エ	
2	タ	イ	ジ	ヨ	19	ウ	ホ	ウ	シ	ン						
3	マ	ワ	タ		グ				11	エ	カ	25	キ			
4	ツ	ガ	ル	17	ヘ	イ	21	ヤ		12	ア	ブ	ラ _B			
5	キ	ワ		9	ビ	ス	ト	ロ								ク

問6、議会だよりについて、ご意見・ご要望をお聞かせください。

- ・確かに、アンケート回答者数 4～5 人の集計グラフを半ページも使って掲載する意味は無いですね。ご意見に対して議会の見解を載せれば、如何？
- ・3 月議会の日程が一部変更になっていましたが、議会か村のHPで村民への広報はされていきましたか？私は目にしなかったのですが。
- ・6 月に入り村のHPで、3 月議会の会議録を検索したところ、昨年 9 月議会まで掲載されました。情報発信が遅すぎませんか？
- ・議会だよりに関することだけではなく、議会全体に関する項目にした方が良いのでは？

議会だよりに関するだけでなく、
議会全体に関する項目にした方が良いのでは？

3月議会号はこちら



FUN! FUN! FUNAHASHI!

素敵な村民
みつけた！

FUN!FUN!FUNAHASHI! は、スポーツや文化活動などでがんばっている村民や楽しんでいる村民を紹介します。
今回は以下の質問に答えてもらいました。

- ①今がんばっている事
- ②将来の夢、今後の目標
- ③スポーツ／文化活動をはじめたきっかけ
- ④舟橋村の好きなところ



GLASS FACTORY K's studio 代表
Kaoru Yoshida

よしだ かおる
吉田 薫さん

- ①ガラス制作＋ライブ・コンサートへ行く事
- ②好きなバイオリニストを舟橋村に招いて
みんなで演奏、お話を聞くこと
- ③もの作り、絵を描くことが楽しかったから
- ④静かで皆さんが優しいところ

たけごし こうへい
竹腰 康平さん

- ①残りわずかの生徒会長としての活動。
- ②志望する高校に合格すること。将来は音楽に関係する仕事をしてみたいです。
- ③小学生のときに、教室に置いてあった小さい卓球セットで友達と遊んだこと。
- ④ある程度顔がわかるところや自然を感じるところ。



Natsuka Shiogumi

しおぐみ
塩組 なつかさん

- ①卓球
- ②卓球選手
- ③パパに連れて行ってもらった
- ④お祭りが楽しい



富山県中学校総合選手権大会
個人ベスト 32
Kohei Takegoshi

FUN!FUN!FUNAHASHI! であなたの活動を紹介させてください！

FUN!FUN!FUNAHASHI! では、スポーツや文化活動などでがんばっていたり、楽しんでいたたりする村民を今後も紹介していきます。年齢や分野は問いません。あなたのFUN(がんばっている事や楽しんでいる事)を紹介していただける方は右のQRコードより必要情報の登録をお願いいたします。



舟橋村のさまざまな施策や課題等について、
議員が自身の主張も含めて村の考えを聞く**一般質問**。
6月定例会で出された各議員の一般質問を紹介します。

田村 馨 議員…………… P 8

1. 深刻な物価高騰に対する独自対策について
-

前原 英石 議員…………… P 9

1. マイナ保険証の一本化について
2. 熱中症・命に係わる危険な暑さへの対応について
3. 竹内天神堂古墳について
-

小杉 知弘 議員…………… P 10

1. 小学校のプール授業及び夏休みのプール開放について
-

加藤 智恵子 議員…………… P 11

1. 高齢者のデジタル環境整備とスマートフォン購入助成について
2. お米の高騰・不足への支援について
-

竹島 貴行 議員…………… P 12

1. ワクチン接種行政について
-

森 弘秋 議員…………… P 13

1. 主要地方道富山上市線の融雪装置の整備の進捗状況及びこれからの方策について
-



物価高騰対策 各種給付金対象者へ給付済

Q 緊急物価高騰対策について伺う

国民の生活はいま、深刻な物価高騰により暮らしと営業への不安は増し、物価高騰が地域住民の暮らしと中小企業の営業を脅かすもとで、自治体による独自支援が求められている。

背景には、食料品価格やエネルギー価格の高騰を受け、家計の節約志向が強まり、景気低迷と生活困難が長期に及んでいることがある。



住民のいのちと暮らし、中小零細事業者を守るために国や県へ物価高騰対策を要請するとともに、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などを活用しての、緊急物価高騰対策について伺う。

- 低所得者に対し、米価高騰支援として1万円程度の支給
- 学校給食食材費の物価高騰分に相当する食材費の支援
- 国民健康保険税の未就学児に係る均等割額などの軽減策の実施
- 実質、無利子・無担保で行う「ゼロゼロ融資」の実施
- 村内の介護・福祉サービス事業所などに対して、物価高騰対策のための助成
- 肥料、飼料、種子などの高騰による、農家への支援
- 若者の暮らし応援として、家賃助成などの実施

A 介護福祉事業所等の費用助成について検討

本村は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和6年度は水道料金減免、給食費補助、福祉施設等への補助等を実施している。また、各種給付金についても、対象者へ早急に給付できるよう取り組み、令和6年度物価高騰給付金は135世帯分405万円及びこども加算分46万円の給付を5月中に完了している。

今回、令和7年度の補正予算として、生活者・事業者支援等として活用できる当該交付金を計上、子育て世帯支援として給食費増額分に充当（小学校分68万4千円、中学校分46万2千円）し、保護者負担の増加を生じない

ようにする。

また、国の予備費が充当されたことで追加交付される当該交付金をどのように活用するのか、現在精査中。住民税非課税世帯への給付金、国保税軽減策や家賃助成等は金額面から実施困難と判断。また、農家に対する支援は、村内農家がほぼ稲作中心で、昨年からの米価上昇等で肥料等の高騰分をまかなえている現状から実施を見送る。学校の給食費は今回対応するため、追加交付分では介護福祉事業所等の要望を聞き、費用助成を検討する。

02 一般質問 前原 英石 議員



◀動画は
こちら



マイナ保険証 登録率 7 割超え

Q マイナ保険証について伺う

1. マイナ保険証の一本化とは？
2. 舟橋村のマイナ保険証取得率と利用率は？
3. 舟橋村においての現行保険証終了後の対応と村民への周知は？
4. 国保税滞納者に対する今後の資格証・短期保険の取り扱いは？

A 本村ではマイナ保険証の登録率が全体の約7割、利用率は約4割

1. マイナナンバーカードと保険証の一体化について
マイナナンバー法等の改正により、利用登録が行われたマイナナンバーカードを保険証とするもの。
2. マイナ保険証取得率・利用率について（4月1日現在）
国民健康保険：取得率78.7% 利用率37.2%
後期高齢者医療保険：登録率70.73% 利用率38.85%
3. 現行保険証終了後の対応と周知について
国民健康保険は現行保険証の有効期限までに「資格情報のお知らせ」または保険証の代わりになる「資格確認書」を送付。後期高齢者医療保険は、一律で「資格確認書」を送付。
4. 国保税滞納者への対応について
1年以上前の保険税が未納の場合、医療費の自己負担10割の特別療養とする。事前に通知し、対象者に保険証または資格確認書の返還を求め、代わりに「資格確認書（特別療養）」または「資格情報のお知らせ（特別療養）」を発行。

今年も温湿度計と経口補水液を配付

Q 熱中症・命に係わる危険な暑さへの対応について

1. 高齢者への熱中症対策の本村での現状は？
2. 本年度の外出時における、クーリングシェルの開設予定場所と、開設期間・開設時間などの詳細は？
3. エアコンのない生活保護世帯や高齢者世帯の把握はされているのか？またそのような世帯への購入支援策は？
4. 学校の授業や屋外での活動そしてプールなどにおける猛暑対策は？また熱中症と思われる事態が発生した場合の対応は？

A 広報や高齢者の通いの場等で、水分摂取や適切なエアコン利用について周知していく

1. 高齢者への熱中症対策の現状について
単身高齢者世帯に対し、村の社会福祉協議会や民生委員協力のもと、温湿度計と経口補水液を配布予定。また、熱中症予防対策等送迎支援として図書館等への送迎事業を社会福祉協議会に委託。
2. 本年度の外出時におけるクーリングシェルの開設場所、期間、時間について
・開設期間：熱中症特別警戒アラート運用期間の4月第4水曜日～10月第4水曜日で危険な暑さの際には開放する。
・指定施設：舟橋村役場、舟橋会館、舟橋村立図書館の3か所。
・開設時間：概ね施設の開放時間に準ずる。
3. (1) 高齢者世帯等の把握について（※約60名のアンケート結果より）
・普段過ごす部屋にエアコンがない…3名
・あっても使わない…5名程度
なお、エアコン未設置世帯数は把握出来ていない。
(2) 高齢者世帯等への購入支援策について
高齢者の熱中症は重症化しやすいため、前向きな対応を検討。
4. 学校の授業や屋外での活動などにおける猛暑対策と熱中症と思われる事態が発生した場合について
(1) 猛暑対策について
・登下校時の対策
保冷リング・タオル等の対策グッズの活用や帽子の着用、日傘の使用等を推奨。
・健康観察の実施
朝と活動終了後には、必ず体調不良者がいないか確認している。
(2) 学校の授業や屋外での活動中の猛暑対策について
・屋外での活動時（行事・部活動含む）
体育館やグラウンドで暑さ指数を測定。危険度に応じて活動の中止、内容見直し、延期を実施。運動（水泳学習含む）は、適宜水分補給と休息時間を設定。
・熱中症アラート発令時の対応
校内放送等で児童生徒や教職員へ注意を呼び掛けている。
(3) 熱中症が発生した場合
危機管理マニュアルに則り、重症と思われる場合、医療機関への救急搬送を行う。

竹内天神堂古墳観光スポット化へ

Q 竹内天神堂古墳の位置づけやその存続、保全保護について伺う

1. 舟橋村唯一、立山黒部ジオパークに指定されている竹内天神堂古墳ですが、村として、位置づけと、その存続と保全保護についての考えは？

A 将来的には観光スポットとして整備を進めていきたい

竹内天神堂古墳は、舟橋村唯一のジオパークに指定されており、数少ない村の文化的歴史的遺跡の一つである。現在、竹内地区の方々によって整備計画が進められていることを把握しているため、その存続や環境の保全保護について足並みを揃えていきたい。

また、古墳周辺には、舟橋村のポスターにも掲載されている無量寺やハス畑も存在している。将来的には周辺地域を舟橋村の観光スポットとして整備を進めていくことが観光資源として効果的に働くものと考えている。いずれかの時期にはその計画を村民の皆様にもお示ししたい。



夏休みのプール開放に 向けて再度検討

Q 小学校のプール授業及び夏休みのプール開放について

昨年の9月議会において一般質問で取り上げた、小学校のプール授業及び夏休みのプール開放について再度質問を行う。

昨年の一般質問において、プール授業の重要性を話した上で、質問として、1、周辺の小学校より授業でプールを使う回数が少なかった理由。2、夏休みのプール開放を中止した理由の2点を伺った。その際、本年はプール利用に関して改善する旨の答弁をいただいた。

本年度のプール利用について、1については天候に合わせて、授業の入れ替えなどでプールの授業が減らないよう工夫される方針という事で安心している。一方で2の夏休みのプール開放については、行わないという結論

になっているという事で非常に残念である。昨年前向きな答弁をした村の教育委員会としての姿勢について、以下3点を問う。

1. 一般質問をした昨年の9月から、今回の決定に至るまで、何度の話し合いを行われたのか？
2. プール監視の外部委託や、開放日を減らしたりする等、保護者の負担を軽減して実施するといった事は考えられなかったのか？
3. 教育委員会としての今後のプール開放に対する考え。

A 夏休みのプール開放はすべきだが、監視員確保が困難

P T Aや学校との協議はしていない。既にP T A常任委員会で決定されており、教育委員会への要望にも挙がっていないため対応していない。

次に、監視員の確保について、教育委員会でも検討を行っている。他の自治体を参考にとすると、熊本市は全小学校で開放しておらず、広島は102校中12校のみ。暑さ

への対応や監視員の人材不足、監視員への安全配慮の責任の所在などがあるため、監視員配置は難しい。

最後に、教育委員会の意見としてプール開放は実施すべきと考えているが、安全配慮や監視員確保が難しい現状では困難。プール開放への近道は、育成会やP T Aの協力を得ることだと考えている。





◀動画は
こちら



デジタル格差解消に向け 相談窓口を設置

Q 情報格差の拡大に対する方針を伺う

行政手続や防災情報、買物など日常生活でスマートフォンの活用が進む中、未所持や操作に不安を抱える高齢者も多く、情報格差の拡大が懸念される。

村の「デジタル化変革宣言」を実効あるものとするた

め、75歳以上のスマホ未所有高齢者に対する購入費の助成や、教室・個別相談会の定期開催を提案するが、村の考えを伺う。

A 高齢者向けスマートフォン購入助成は検討、操作講習会や個別相談は相談窓口を設置

総務省「令和6年通信利用動向調査」より、スマートフォンの世帯保有率は90.5%だが、70歳以上世帯では保有率が全体平均を下回るため、高齢者がデジタル機器を使いこなすための環境整備は重要である。高齢者向けスマートフォン購入助成は、既に他自治体で実施されているが、村の経済的支援は、村民のニーズを踏まえ検討する。次に、操作講習会・個別相談の機会は、総務省同調査で高齢者がスマートフォン操作に対して抱く不安感や抵抗感を指摘していることから、これまで社会福祉協議会に委託して高齢者向けスマホ教室を実施してきた。今年度からは新たに、地域おこし協力隊員の協力を得て、役場

内にスマートフォンの操作方法やアプリの利用方法等に関する相談窓口を設置。高齢者が安心してスマートフォンを利用できるよう、購入助成制度とともに、地域おこし協力隊員と連携した包括的支援を行っていく。

最後に、高齢者のデジタル支援体制は、今年4月1日に「舟橋村デジタル変革宣言」を発出し、誰もが情報サービスから取り残されないまちづくり、全世代が安心してデジタル機器を活用できる地域社会の実現を目指していることから、県や国が進めるデジタル化推進の取組と連携を図るとともに、他自治体の取組事例や民間企業の動向等も参考に、高齢者のデジタル支援体制を拡充していく。

米不足 地産地消の機会創出に努める

Q 米不足や価格高騰への対応を伺う

米の供給不足と価格高騰が続く現状を踏まえ、非農家世帯や高齢者、子育て世帯への一時的な配布支援、備蓄体制の整備、地元米の優先販売制度の創設、並びに情報

発信体制の強化について、村としてどのように対応していくのか伺う。

A 米価高騰に対して村ができる事は少ない

昨年の夏より続く米価の高騰で、現在5キロ・グラムの平均価格は、4,000円を超え続けている。主食である米の高騰は住民生活に対し逼迫感が増すばかりである。そのため、政府も備蓄米を市場に投入。入札制度も当初の一般競争入札から随意契約へ変更、価格を5キロ・グラムあたり2,000円台へ誘導する等躍起である。また、今後国の米政策は、事実上減反の縛りを廃止し、増産を検討する等農業の構造改革に着手する方針である。

一方、村は、生活が厳しい方に対する米の配布支援や、家計への支援策を行う予定はない。

次に、地元農家と連携した村民向け優先販売制度や余

剰米を活用する協定等も検討していない。

ただし、3月議会で説明を行った東芦原の農産物直売所「ベジポート」に対し支援事業（生産者が納める品物価格の20%分の負担金を助成する事業）を行っている。その直売所への村内米生産者からの出荷で、地産地消の拡販を図り、消費者が地元産の米を食する機会を創出できる仕組みづくりを展開していく。

最後に、地元米の価格や販売情報を住民に分かりやすく伝えていくことは難しいと認識している。米価高騰に対して、村ができる事は少ない。

05 一般質問 竹島 貴行 議員



◀動画は
こちら



ワクチン接種の情報を 広く開示 不安払拭へ

Q 村のワクチン行政サービスの取組姿勢を確認する。

舟橋村の主権者は村民です。そのことについて村民の自覚が大切です。

そして今回、ワクチン行政実態を確認する目的で質問しました。

ワクチンは病気の感染予防を目的に薬を体内に投与し免疫力を高め病気のリスクを減らすものです。一つ目は子宮頸がん予防ワクチンです。これは中学1年生から高校1年生の女子が対象で定期予防接種するものです。令和2年に国は副反応リスクから接種を一時控えるよう勧告し、接種は控えられました。現在では積極的に勧奨されています。接種責任やリスクは当事者が負わされますが、当事者が納得して接種ができるよう寄り添った説明責任は村にあります。この点、村はどう考えているかを

聞きました。

二つ目は新型コロナワクチンです。此れ迄ワクチン接種は7回行われ、公表データでは富山県の全人口に占める接種率は第1回が84.49%でしたが、第7回は15.85%でした。このワクチンによる健康被害がネットで情報拡散され、報道しないオールドメディアへの不信感を煽る結果となっています。

国会でもワクチン被害について超党派議員団が政府を追及し、著名な医学者も健康被害について記者会見で述べています。

地方分権から村は村民を護る責務があり、村長の見解を質しました。

A ワクチン接種に対する村民の不安を払拭していきたい

子宮頸がんワクチンの定期接種は、小学6年生～高校1年生の女子を対象に公費で接種できる。国は、平成25年6月に積極的勧奨を一時控えたが、令和3年11月に接種の有効性が副反応のリスクを上回ると認めたため、令和4年4月より積極的勧奨を再開した。村も同様に再開し、3月～4月に小学6年生女子を対象に接種券を発送した。加えて、積極的勧奨の差控えで接種機会を逃した世代に対し、令和4～6年度に公費でのキャッチアップ接種を実施した。接種に伴うリスクは、保護者から相談があれば保健師が厚生労働省発行リーフレットを用いて効果・リスク・注意点等を説明、不安解消に努めている。今後も保護者が納得の上で接種を受けていただけるよう、情報提供に努めていきたい。

次に、新型コロナワクチンは、令和6年度から65歳以上及び60～64歳の身体障がいをお持ちの方を対象に定

期接種として実施、9月下旬に接種券を送付している。接種券送付の際、各ワクチンの副反応や発現割合等が記載された厚生労働省発行のパンフレットを同封し、接種を受ける際の判断材料の1つとなっている。また、ホームページや広報でも案内している。引き続き村民への情報提供に努めていきたい。





◀動画は
こちら



融雪装置 知事へ要望

Q 融雪装置の進捗状況とスピード感のある対策を

本道路は、富山県の主要道路であり、かつ近年のモーターライゼーションの発達により車両の増加が一段と増加し、不慮の事故等も考慮すると、融雪装置の整備は喫緊の課題である。県の方針は、新規の融雪装置は整備しない。老朽化した融雪装置を優先的に補修する。これでは、既得権者だけが利益を被っている。村長は、「舟橋村は今後高齢化がより一層進行することが予見できますので、日々生活において利便性の高い、そして安心・安全な村へと取り組みを進めていくべきであろうと考えております。また、主要地方道富山上市線は村を横断する県道ですので、各地区に本要望をお伝えし、現状を当局側から働きかけていきたい。」との答弁。

7年度地区要望で、舟橋地区は、「県道富山上市線に融雪装置を設置してほしい。上市街道で舟橋村だけが中抜けになっている。」、竹内地区は、「主要地方道富山上市線の融雪装置の整備をお願いします。本道路は交通量も多く、圧雪時、凸凹がひどく、大変危険な状態となっています。」と要望。「地区要望の対応について、所管・管轄外の物件等の要望は、当局の任意では対応できません。」当たり前ですよ。要は、如何に強力に要望し、

継続して要望するかです。「はい、要望しました。伝達しました。」ではダメです。県は、機械除雪を実施する。と言っているが、本末転倒です。

いろんな角度から考えて、村の代表である村長は、どのように県に働きかけているのですか？何をされているのですか？しつこいが、地元を固め継続的に要望しないと忘れ去られてしまう。村長、汗をかきましょう。トップである村長が汗をかく。それとも諦められるのですか？村長が如何に汗をかかれるか？請う期待です。



A 事業遂行まで関係機関への要望を続けていく

県道富山上市線の融雪について、令和7年の地区要望・自治会要望として舟橋地区と竹内地区から要望を頂いているが、国重地区からは要望は頂いていない。令和6年12月22日に国重地区の総会で時間を頂いて富山上市線の県道融雪について自治会内での検討をお願いしたが、結果として3地区からの当局への要望とはならなかった。しかし、当局としては今後、6月18日予定の立山土木事務所との土木情報交換会において所長宛に直接文章で

要望し、また7月3日に県知事要望として直接県知事への要望を予定している。

最近事業施工して頂いた県管理の2級河川細川の浚渫についても、数年前から毎年立山土木事務所に要望して実現しているのが現状であるため、森議員の強い気持ちを受けとめ、当局として出来る事を継続していく。実現までは長い道のりかもしれないが、今後も森議員と共に事業が遂行されるまで要望を続けていきたい。

My Recommended Movies

私のおすすめ映画



寅さんの物語は、時代や社会の変化に関わらず、家族というものが持つ普遍的な価値を伝えています。家族の温かさ、絆、そして家族の重要性を改めて感じさせてくれる作品です。

私のおすすめ映画 Vol.3

何ごともない毎日こそ、いちばん尊い

『男はつらいよ』



『男はつらいよ』(第1作)

監督：山田 洋次

公開：昭和44年8月27日

上映時間：91分

主演者：渥美清、笠智衆、光本幸子

佐藤蛾次郎、津坂匡草、志村喬

Blu-ray：3,080円(税込)

DVD：1,980円(税込)

発売・販売元：松竹

©1969 松竹株式会社

※2025年7月時点の情報です

私のお勧めの映画は「男はつらいよ」渥美清さん演じる“フーテンの寅さん”です。

「男はつらいよ」は、渥美清さん演じる“フーテンの寅さん”が、日本各地を旅しながら、出会いや別れを繰り返していく人情味あふれる映画シリーズです。この映画シリーズは、日本を代表する国民的映画シリーズで、1969年から2019年までに全50作公開されました。「男はつらいよ」には笑いがあり、見た後に楽しい気分になる作品です。ただし、その笑いはドタバタ劇のような派手なものではなく、人情味や日常のちょっとしたズレから生まれるユーモアが中心です。不器用だけど真っすぐで、どこか憎めない寅さんの姿に、私は何度も笑って、そして時にはほろりと涙してしまいます。

柴又の下町で暮らす家族とのやりとりや、旅先での人との出会い、風景や季節の移ろい…。どの作品にも、懐かしいような、心がぽっと温くなる場面がたくさん散り

ばめられています。忙しい日々の中で、ちょっと立ち止まって「人とのつながりっていいな」と思わせてくれる、そんな優しさに満ちた作品です。

どれから観ても楽しめますが、まずはシリーズの始まりである第1作「男はつらいよ」がおすすめです。寅さんの家族や柴又の町の雰囲気がよく分かります。個人的には、第9作「柴又慕情」もお気に入りです。吉永小百合さん演じるマドンナとのやりとりがとても印象的でした。

心がちょっと疲れたときや、温かい気持ちになりたいときに、ぜひご覧になってみてくださいね。

6月定例会議案一覧

会期：6月2日～6月13日

6月定例会に提出された案件について、付託された委員会で審査を行う委員会質問。
委員会での審査の内容と議案審議の結果をお伝えします。

付託先 議案 第19号（所管部分）・第20号（所管部分）：総務教育常任委員会

議案 第19号（所管部分）・第20号（所管部分）・第21号：産業厚生常任委員会



議案	内 容 説 明
①⑨	専決第3号：令和6年度一般会計において、公立学校情報機器活用支援体制整備補助金の受入を行う予算補正を行い専決処分されました。 専決第4号：令和6年度後期高齢者医療事業特別会計において、後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正を行い専決処分されました。 専決第5号：令和6年度一般会計において、各種事務事業の完了に伴う事業費を精査した結果、補正金額：6,333万6千円の増額となり、令和6年度一般会計の総額は22億9,956万7千円となりました。主な項目は以下の通りです。 ・社会福祉協議会補助金 △233万9千円 ・新型コロナワクチン接種業務委託料 △150万8千円 ・温暖化対策実行計画策定委託料 △230万円 ・土地改良施設維持管理適正化事業 △164万円 ・予備費 +1億1,858万6千円 専決第6号：令和6年度国民健康保険事業特別会計において事業精査した結果、補正金額：42万1千円の増額となり、令和6年度国民健康保険事業特別会計の総額は1億5,064万8千円となりました。主な項目は以下の通りです。 ・保険給付費 △240万円 ・予備費 +340万1千円 専決第7号：村税条例の一部改正が専決処分されました。これは地方税法等の一部改正により村税条例を改正したもので、①大学生年代の子等に関する特別控除の創設、②固定資産税の減額措置における申告の見直し等の改正です。 専決第8号：村国民健康保険税条例の一部改正が専決処分されました。これは、地方税法等の一部改正により村国民健康保険税条例を改正したもので、①賦課限度額の引き上げ、②軽減措置の拡充等の整備です。
②⑩	令和7年度一般会計補正予算（第1号）…補正増額3,349万7千円 高付加価値NFT販売プラットフォーム構築事業費として1,610万円、「みんなとだから楽しめるブランコ」設置事業費として600万円等の予算が計上されました。一般会計予算の総額は22億1,126万4千円となりました。
②⑪	令和7年度舟橋村簡易水道事業会計補正予算（第1号） 収益的収入で簡易水道使用料13万円、収益的支出で残留塩素濃度測定器購入費13万円の予算が計上されました。
報告 第1号	令和6年度舟橋村繰越明許費繰越計算書について、一般会計で9件、事業費4,145万4千円を明許繰越したことの報告を受けました。主な項目は以下の通りです。 ・低所得者支援及び定額減税補足給付金事業572万3千円 ・村道竹内舟橋駅線消雪施設設置事業990万円 ・公立学校情報機器整備事業1,969万円
追加第1	田村馨議員が議会広報特別委員会の委員を辞職されました。
追加第2	田村馨議員が議会広報特別委員会の委員を辞職されました。
決議案 第1号	田村馨議員に対する問責決議案が可決されました。



委員会質問

住みよい舟橋村

総務教育常任委員会

NFTのハードルを低く、活用しやすく

問 高付加価値NFT販売プラットフォームについて、デジタル資産の所有権は村になるのか。(加藤)

答 NFTとは暗号技術を用いて作成されるデジタル資産の証明書のことで、簡単に複製できない。作成したデジタルデータに情報（著作権や所有者、NFT取得日、利用履歴等）を持たせて、更新することが可能。NFTの所有者に対して情報発信を行い、所有者同士のコミュニティ構築が可能（DAO）。今回の事業の目標は、（１）村の特産品をNFT化して魅力をデジタル空間で発信、（２）観光施設の優待やイベント参加特典により村へ訪問する人を増やす、（３）販売収益を財源とすること。販売するためのツールが必要で敷居が高いため、初心者でもスムーズに活用できるように分かりやすい環境構築を行う。所有権は、購入した方にある。対価として村に販売収益が入る。



施設の修繕を行っていく

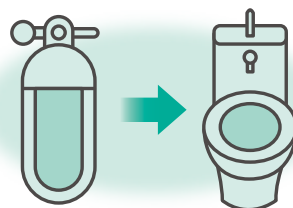
問 舟橋駅西側塗装について、建物の長寿命化も考慮すると改修する時期だと考えるが。(加藤)

答 現地の状況を確認し、修繕が必要であれば対応を行いたい。

トイレの便器の洋式化を検討

問 舟橋駅のトイレの便器を和式から洋式に改修できないか。(加藤)

答 皆様が利用しやすいように洋式の便器への改修を検討する。



子どもたちのアイデアがサンフラワープロジェクトのロゴに

問 サンフラワープロジェクトロゴ製作費が繰越明許費となっているが、仕上がる予定は。(森)

答 当初こちらの思い描いていた通りに進まなかったのは事実である。その上で、昨年学習の一環として向日葵の種蒔きを行った小学3年生の子どもたちが、自発的に全校生徒を対象にロゴのアイデア募集をしてくれた。今年度はサンフラワーに関する委員会を設けたので、そちらの委員会で進めていくが、せっかくいただいたアイデアなので、いくつか選考し、プロのデザイナーに参画いただいてロゴデザインを行っていききたい。





村民の幸福度向上を！

産業厚生常任委員会

新型コロナワクチンを接種しないのは金銭的負担が原因か

問 インフルエンザ予防接種委託費444千円減、新型コロナワクチン接種委託費1,508千円減について、要因は何が考えられるのか見解を求める。(竹島)

答 いずれも、実績が当初の見込みを下回ったことによる減。特に新型コロナワクチン接種は、5類への移行後は65歳以上を対象とした定期接種になっている。予算は令和5年度の高齢者の接種率を参考としているが、実績はそれを下回っている。当初見込みより減額となった理由は、5類に移行したこと、令和5年度は自己負担額が0円だったが、令和6年度は2,300円となり、負担が発生したことが要因と思われる。なお、インフルエンザ予防接種については例年通りであり、不要額も例年通り。

率先して介護ヘルパーの人材確保を

問 村の地域包括支援事業において、今後の人材確保取組方針について見解を問う。(竹島)

答 昨年度は、村社会福祉協議会がハローワークを通じて介護ヘルパーの募集をしたが、なかなか採用に至らなかった。村社会福祉協議会では、今年度はハローワークのみならず福祉人材センターの求人や、福祉分野専門学校への募集等を実施予定。在宅介護を維持していくために、今後も村社会福祉協議会と連携を密にして、支援を行っていききたい。

融雪の効かない大雪、除雪体制の強化を

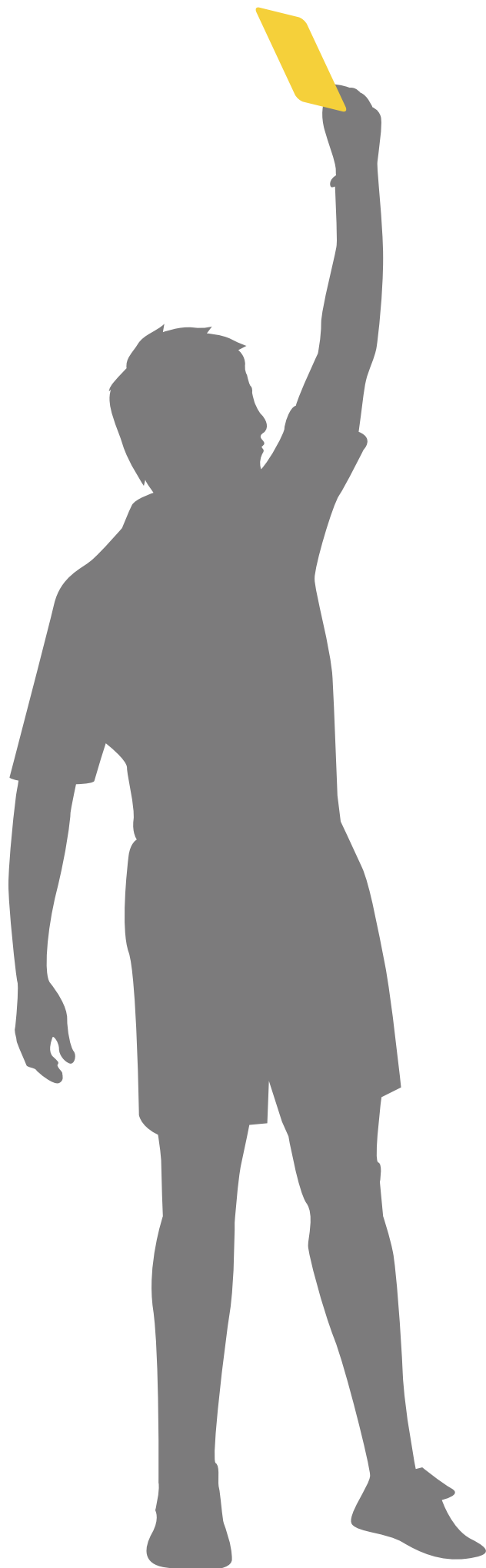
問 舟橋村除雪オペレーター育成支援事業費補助金の事業概要は。(小杉)

答 昨年度の2月大雪で融雪装置だけでは十分に雪を解かすことができない等、除雪が後手に回ったため、対策として検討したもの。大型特殊自動車免許取得及び車両系建設機械運転技能講習を受講する、満50歳以下の方に対する助成金。対象経費の3分の2を助成し、1名8万円が限度額。条件として5年以上村管理道路の除雪をお願いするもの。交付の条件として住所は定めていないが、近隣を想定している。今年度集まらなかった場合、来年度以降も継続していきたい。助成後に村の除雪が出来なかった場合は、補助金の返還を求める。

より安く舟橋村の水を提供する方法を模索したい

問 返礼品として土地の水が手取り早く売れるものと聞いたが、舟橋村でも水をふるさと納税返礼品に加えることは検討出来ないか。(竹島)

答 この件については一昨年度から情報を得ており、ボトリング業者から見積は徴収している。県内の事業者2社によると、1社は500mlで1本原価130円、もう1社は1本原価166円。ふるさと納税のルールに則ってこの3倍の価格をつけるとすると、アドバイザーにも相談したが勝負できないだろうとのことで、選択肢としては非現実的。しかし、原材料費がかからないので、やりたいという気持ちはある。ボトリングする施設を手に入れて、より安価に出来る方法がないか模索している。



田村馨議員に対する 問責決議案可決！

6月議会最終日、田村馨議員に対する問責決議案が可決されました。舟橋村議会初となる問責決議案とは？そしてなぜ問責決議案に至ったのかを解説します。

問責決議とは

議員に政治的責任を問うことを内容として行われる決議の事。法的拘束力はありません。

問責決議までの流れ

3月議会総務教育常任委員会

田村議員による

- ・虚偽の事実の公表
- ・差出人がわからない文書の内容の読み上げ
- ・原本との同一性の確認が取れていない不確な資料の提示
- ・机を叩いたり大声で威圧するような態度



議長より厳重注意

田村議員より、「議会での一連の所作に対する反省」と「村長及び役場関係者への謝罪」の意思表示があったため議長からの厳重注意とし、懲罰動議は発議しなかった。



田村議員ら共産党富山地区委員会による「声明」

事実とは異なる部分を多く含んだ声明文を村内に全戸配布したことで、村民に誤った情報や認識を広めるとともに、村議会の品位を著しく低下させた。



田村馨議員に対する問責決議案を全会一致で可決

議長、田村馨議員を除く、5名の議員の賛同を得て問責決議案が小杉議員より提案されました。田村馨議員による弁明もありましたが、田村馨議員に対する問責決議案は全会一致で可決されました。

田村馨議員に対する問責決議案

我々舟橋村議会議員はお互いに切磋琢磨し、舟橋村をより良い村にするため日々努力を重ねている。今回、その同僚議員に対し、問責決議案を提出することは、大変辛く心苦しいものがあるが、5月15日に田村馨議員らが発表した声明文には、事実とは異なる部分を多く含んでおり、声明文を村内に全戸配布したことで、村民に誤った情報や認識を広めるとともに、村議会の品位を著しく低下させる、大変深刻な結果を招いたといえる。

そもそも田村馨議員においては、先の3月定例会における一般質問及び総務教育常任委員会において、虚偽の事実の公表、差出人がわからない文書の内容の読み上げ、原本との同一性の確認が取れていない不確な資料の提示、机を叩いたり大声で威圧するような態度をとったりしたことなどにより、議長より嚴重注意を行ったばかりである。

我々村議会議員は、村民の負託に応えるべく、誠実に職務を全うするため、自らの言動には責任を持つ義務があることはいふまでもない。しかし、これは自らの責任において如何なる発言も無制約に許容されることを意味するものではなく、議員が自身の見解や情報を発信する場合には、その根拠や情報の正確性はもとより、発言の影響力を勘案し、村民の信頼を得るに値する責任ある言動が求められているのであり、公益目的等を理由に、議員の言動が世間の混乱や他者の権利侵害を招くことなど決してあってはならないことである。

以上のことから、舟橋村議会は、田村馨議員に対し、改めて公職の役割や責任を自覚するとともに、流布された事実と異なる声明の訂正を本年八月末日までに村民に周知する事を強く求める。

田村馨議員による弁明文

ただ今、提案されました「問責決議」に対しまして、私田村の「弁明の発言」を行います。

5月15日に日本共産党富山地区委員会が発表しました「声明」の中心点は、3月定例会における渡辺村長の言動について批判をしたものであります。

とりわけ、3月12日の「議会全員協議会」で、渡辺村長が私田村に対して「懲罰動議」を出すよう議会に要請したことは、明らかに「議会への介入」とであると指摘しました。これは、二代表制の下で、行政の長である村長による「議会への介入」そのものであります。

また、3月10日の私の一般質問に対して、村長は「パワハラと思っているのか？」と、確認と称して逆質問を行いました。これも、「反問権」が定められていない舟橋村議会のルールを逸脱したものと云わざるを得ません。

この2つの事案は、私田村と日本共産党富山地区委員会の認識であります。そうでないと受け止める方もおられると思いますが、それは「見解の相違」ではないでしょうか。

ところが「声明」には、事実と違うところがある、根拠が不明だとの指摘がありました。しかし、職員や議員の「名前」を伏せているのは、プライバシーの観点から当然ではないでしょうか。

今回、「声明」を記者会見で発表して全戸に配布したのは、村長の言動と、村議会で起こったことを、村民の皆さんに知ってほしい、との思いから行ったものです。

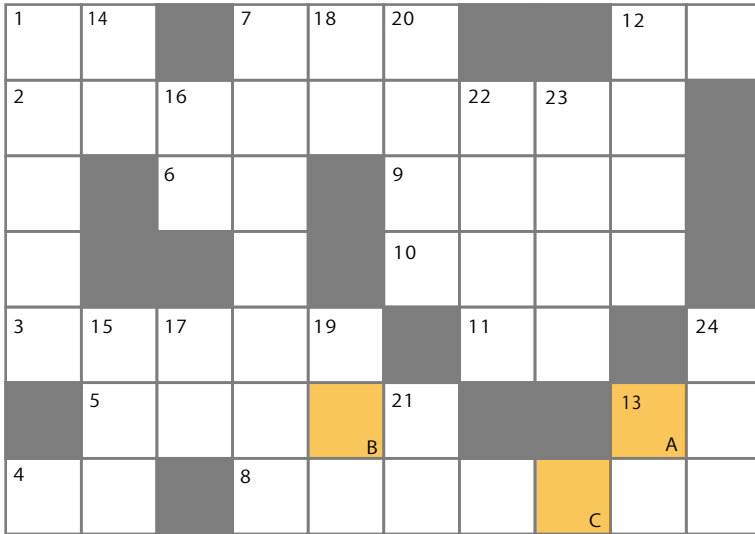
私田村は、今後とも村政のあり方や村長の姿勢、村議会の様子を、その都度、村民の皆さんにお知らせし、また共に考えていきます。

以上の事から、「声明」の訂正を求める問責決議には、到底応じることはできません。このことを改めて表明させていただき、私からの「弁明の発言」とします。

Bridging Crossword



ふなはし 議会だより
Funahashi Bridging Voices
ふなはし ぶりっじんぐ うおいしーず



視察で加工施設を
案内してくれた方
氏

○ヨコのカギ

- 1: 錠前を開閉する金具。
- 2: 村内唯一の立山黒部ジオパークの文化サイトである竹内○○○○○。
- 3: 瑠璃色の羽が特徴の鳥で、鹿児島県の県鳥。
- 4: 世界に2京匹いると言われている昆虫。
- 5: 本年4月に議員視察で訪れた自治体。
- 6: 英語で「shop」。
- 7: 遺族の代表者であり葬儀の主となる人。
- 8: 現在舟橋村議会では7人です。
- 9: 日本のプロ野球リーグの一つ。交流戦では負け越している。
- 10: 天に届く事。また、それほど高いこと。
- 11: 尺貫法で尺の1/10の単位。
- 12: アルファベットの19番目の文字。
- 13: 沖縄本島で一番広い自治体。○○市。

○タテのカギ

- 1: 司教が座るための椅子を持つ聖堂のこと。
- 7: 議会が意思を示す、政治責任を問う決議の一つ。
- 12: 救援の軍隊の事。
- 13: 紫色の夏野菜といえば。
- 14: 元素記号で「Ag」。
- 15: アイヌ語で「高い山」という意味。
- 16: 派手の対義語。
- 17: 田んぼで見かける水かきがある鳥。
- 18: 平賀源内が生まれたとされる町。さぬき市旧○○町。
- 19: 住む場所の事。
- 20: 森議員の6月一般質問。○○装置の整備について。
- 21: 英語で「core」。
- 22: シソ科の植物で、主に葉の色を楽しむ観葉植物。
- 23: 通常の社会生活からはみ出して、ぶらぶらと生活している人。
- 24: 文字やマークなど、意味を付された図形のこと。

議会広報特別委員会

委員長: 小杉 知弘
副委員長: 古川 元規
委員: 前原 英石

あとがき

2023年2024年の夏は2年連続で観測史上1位記録的な猛暑となりましたが、2025年は過去2年には及ばないものの気温は平年よりかなり高く猛暑となると言われています。

私が子供の頃、風鈴・怪談話・金魚・夏の和菓子・水の流れる音等でも十分に涼を感じることが出来た事を思い出します。しかしここまで暑いとやっぱりそんな風情より、現実は一アコンですね。(前原 記)

議会・議会だよりについて、
皆さまのご意見・ご感想を
お寄せください。



読者アンケートフォーム

舟橋村議会事務局

〒930-0295 富山県中新川郡舟橋村仏生寺55
TEL: 464-1121 (代) FAX: 464-1066 Mail: info@vil.funahashi.iyo.yamajp